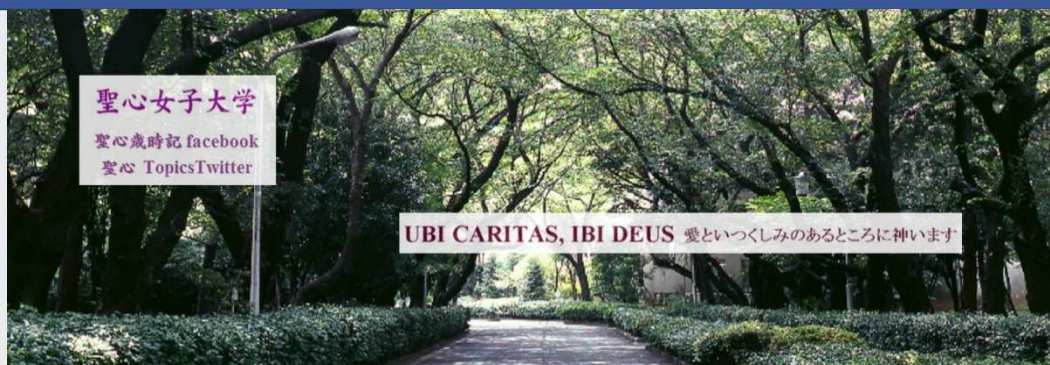




聖心女子大学
「聖心歳時記」

@SeishinDiary



聖心女子大学「聖心歳時記」

作成者: goukaku@u-sacred-heart.ac.jp [?]

このページに「いいね！」する 8月10日

シリーズ学生記者が行く

— 広尾Walking2017—

CANVAS TOKYO

広尾駅から歩いて約3分。彩り豊かな広尾の街に、真っ白な建物があります。そのお店こそは、“CANVAS TOKYO”。こちらでは、ベリーベリー、シナモンシュガーなど約10種類のドーナツ、また、コーヒーはエスプレッソやフラットホワイトなどを販売しており、2階のスペースでゆったりとくつろぎながら、それらを楽しむことができます。

店名にもある“CANVAS”には、自由に絵を描いていく、色を塗っていくというイメージがあり、スタッフの皆さんは勿論のこと、お客様も含めみんなでお店を作り上げていきたいという思いが込められているのだとか。

そんな“CANVAS TOKYO”には訪れる人を魅了してやまない独自のこだわりが多く見られます。まずは、何とんでも、特徴的な真っ白の建物によく似合う室内装飾でしょう。1階で使用しているコーヒーマシンは外観に合わせ真っ白なものを特注し、作業用の冷蔵庫は、60年前にアメリカで使用されていたものを輸入したものだそうです。

また、インテリアだけでなく、お客様へ提供する食品にも妥協はしません。コーヒー豆は焙煎にもこだわり、バリスタが丁寧に淹れていてコーヒーのいい匂いに誘われます。ドーナツもただのドーナツではなく、大豆を使用して健康面にも気を遣っています。

随所に思いがけないこだわりが満載の“CANVAS TOKYO”は現在、InstagramなどのSNS上においてドリンクの上にドーナツを乗せた写真を上げる人が急増したことから、人気急上昇！なんと、国内に留まらず海外からも足を運ばれるお客様がいらっしゃるそう。

営業時間は10時～19時30分です！皆さんもお店を訪れた際は、ただ飲食を楽しむだけでなく、細部までのこだわりを是非感じてみてください。見る、食べる、触る、嗅ぐ、聴く、これらの五感を全て使った時に、自分の“CANVAS”に絵を描けるのではないのでしょうか？

SRS(聖心 Radio Station)部員 関 望来(1年)

広尾散歩通りMAP “CANVAS TOKYO”さんはB-2です。<http://www.hiroo.info/>